

9月3・4日開催

▼常任委員会での質疑の主な内容は次のとおりです。

◎総務課所管

Q 行政無線設備修繕とは防災無線の修理のことか。最近調子が悪く、サイレンの後の音が聞こえないが、それも改善されるのか。

A 役場内の防災無線の修理である。サイレンの後の不具合も併せて解消できればと思う。

Q 金利の上昇が公債費等に与える影響は。

A 現在の借入は固定金利であり影響はないが、これからの借入は利息負担増となる。

Q 最低賃金上昇したが、会計年度任用職員の賃金は上がった金額で対応するのか。

A 職員も会計年度職員も、条例を改正してから4月に遡って対応することになる。

Q 自衛官募集に名簿の提供をしているか。

A 提供していない。  
令和7年度の①経常

経費、②特定財源、③臨時一般財源はいくらか。

A ①34億200万円、②9億3400万円、③6億4800万円である。

Q 経常経費率が89・8%になるが、村の財政余裕度をどのように見ているか。

A 経常収支比率が前年度より0・2ポイント上昇しているが、臨時財政対策債を除いた数字ではマイナスになっているため、比率では変わらない。

◎税務課所管

Q 平田村地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税について、該当する事業所はどのくらいあるのか。

A 本村では、この制度を活用した事業所はない。

◎企画商工課所管

(報告)  
廃校に関する方針について。

▼旧蓬田中学校は解体を、旧小平中学校も、将来

の負担を考慮し解体を予定している。また、小学校統合を令和13年に予定していることから、両小学校とも高齢者が集う参集機能や、学校記念品の展示など複合的な施設が望ましいとの意見が出ている。地域の声も聞きまわっていききたい。

(要望)

▼樹里庵を利用した団体から「中が汚かった」という報告がある。貴重な施設であり、宿泊できる施設とするなどの利活用を検討された。

(来園者の声)

▼あじさい園のカート利用者で、カートの運転手が、紫陽花の説明を丁寧にしてくれたため、カート代が安く感じたとのこと。



ジュピアランドで活躍するカート

Q カートの排気ガスが臭いという声があるが対策は。

A 対策について現場と協議する。

◎道の駅整備推進室所管

Q 道の駅の公募型プロポーザルの1次審査はだれが。

A 公募型プロポーザル審査委員会で審査を行うっており、大学の先生や役場職員9名で実施した。

Q 現道の駅の人件費の内訳は。

A 正職員分は1千512万円、非常勤分は3千476万円、役員報酬は19万円である。

Q 正職員は何名か。

A 2名である。

Q 「道の駅かさま」を視察したが、コストがからまない造りであった。天井を張らないことで建築費の削減になる。

A 参考にした。

Q サツマ芋の6次化商品だけでは足りない。また、個人でも県の補助金を受けられるよう周知を徹底してほしい。

外部に依頼すると利益が少なくなる。利益が出ないと生産者も増えない。

A 6次化商品開発や販路拡大は、企画商工課の創業支援やスタートアップ事業等の補助事業を活用しながら進められるよう検討したい。

◎産業建設課所管

Q 簡易水道の有収率は、通常どのくらいか。

A 90%前半程度と思われる。有収率が低いのが、火災時の消火栓の使用や維持管理上の使用もあるためであり、一概に漏水だけが原因ではない。

Q 本管から個人宅までの間で発生した漏水の対応は、どこで行うのか。

A 本管からメーターまでの管路については、村で修繕を行う。

Q 村道路線の廃止した土地は個人に譲渡できるのか。

A 普通財産になるため、譲渡希望があれば検討する。

Q 林業・木材産業等振興施設整備事業の機械購入補助金は、1社で2千500万円か。

A 1社である。県の補助金を村を仲介して補助したものである。

Q 多面的機能支払交付金の返還が必要な組織数は。

A 17組織の内16組織である。

Q 返還しなければならなくなった経緯は。

A 県内に会計検査が入り、管理が不十分な組織に返還を命じる事例があったため、全国的に現地確認を行うよう指示があった。本村でも、現地確認を実施した結果を基に組織内で協議し、除外した農地があったため返還に至った。

Q ライスセンターについて、小平と蓬田に1カ所ずつと概ね決まっているが、どの程度の金額になるのか。

A 昨年度のライスセンター検討委員会の中で、概算で3億円程度という話があったが、具体

的な金額については推進検討委員会で話し合いたい。

◎住民課所管

Q カーブミラーが冬になると凍ってしまい見えなくなる。カーブミラーがなくても安全が図られるよう、カーブの土手を低くし見通しを良くするようにできないか。

A 関係課と協議したい。なお、昔のカーブミラーは汚れや霜などが付きやすいが、現在のものは、コーティングされているため、汚れや霜が付きにくくなっている。

Q カーブミラー設置の要望数は何箇所か。

A 13箇所である。

Q なぜ13箇所もあるのか。危険箇所をなくするために早期解消が必要。

A 予算の範囲内で実施しているため、設置数が限られている。

Q LED防犯灯の電気代はどのくらいか。

A 1基あたり月に150円くらいである。

◎健康福祉課所管

Q 介護保険の準備基金積立金について、9月補正で1千400万円計上しているが、7年度末残3千500万円を足した額が8年度末の基金残高となるのか。

A 年度途中に介護サービス費の増加などにより負担金が増加した場合、基金の取り崩しが必要となるため、そのまま年度末の基金残高となるものではない。

Q 要介護者が減少している要因は。

A 介護予防の運動教室等を実施していることも要因である。

Q 負担金収入の増加は「よもぎ荘」の増床によるものか。

A 養護老人ホームの処置入所者が増えたことによるものである。

Q その他の要因は。

A 他の施設への入所増が要因と思われる。障がい者は増えている状況にあるが、障がい者のグループホームは不足していないのか。また、平田村に比べて

よいのか。

A 次期障がい福祉計画を策定する年度であり、8月にアンケート調査を実施した。内容を分析し、状況を見ながら次期計画に反映させていきたい。

Q メタボリックの指導は、47名で済んだのか。

A 特定保健指導対象者は47名だが、メタボ基準に該当する方は更にいる。治療は要しないがメタボの恐れがある方が指導対象となる。現在治療中の方は対象から外れている。

Q 先天的な障がいを持つっている児童は一定数いるようだが、後発的な障がい者が増加している影響について、食べ物も関連するとの報告もある。食についての講演等の実施を検討しては。

A 検討していきたい。

◎教育課所管

Q 個別施設計画として資料を提出してあるが、村のその他施設も同様に施設計画を策定して

あるのか。

A 各所管課で管理している施設の個別計画がある。

Q 小学校建設検討調査について、具体的にどのような委託内容だったのか。

A 小学校を統合する際に、清風中学校の敷地の中で実際の程度の面積を確保できるのかなどを、専門業者に確認してもらった。

Q 中学校修学旅行費用支援金事業は、臨時となっているが、今後はどうするのか。

A 今回は地方創生臨時交付金を活用し実施した。今後は村支出で引き続き実施する。

Q 中学校修学旅行費用支援事業は、今後も1万円の支援か。

A 保護者負担6万円を基準に、それを超えた額のうち、上限を1万円として支給するよう定めている。

Q 切山グラウンドについて。平田村体育施設条例の一部改正とあるが、既に活用候補があ

るのか。

A 何らかの活用の話はあるように聞いている。



現在の切山グラウンド

Q 給食調理の委託料については、これまでの実績から金額を設定しているのか。

A 現契約事業者に、同等の業務内容で見積を依頼し提示したもの。現在は年間2千4百9万円、今回計上している額は4千6百20万円の見込み。但し、限度額とするだけで入札により決定するため、実際の契約額は変わってくる。

Q 現在の小学校の体育館に空調設備を整備する考えは。

A 危険な暑さであると判断した場合には、体育授業の日程を変更する等柔軟に対応しており、空調設備の整備は考えていない。

Q 野球場のグラウンドの状態が悪い。

A 整備を検討したい。

Q 生活道路の法定速度が変わったことによる、スクールバスへの影響は。

A 特にない。

Q 廃校活用として、歴史民俗資料館のような検討はあるのか。

A プロジェクト会議の中でそのような意見はある。総合的に判断し検討していく。

Q 移動図書館について検討しているか。

A 村民からの要望は聞いていないが、需要があれば検討したい。なお、県の事業を利用し、年2回の移動図書館を実施している。